

平成28年度第2回北海道入札監視委員会 開催結果

日 時 平成28年11月25日(金) 15:30~
場 所 道庁7階 農政部第1中会議室

(委員会次第)

1 開 会

2 報告事項

- (1) 平成27年度入札契約執行状況(平成28年3月末)
- (2) 平成28年度入札契約執行状況(平成28年9月末)
- (3) 談合情報の対応状況

3 審 議

抽出審議

4 閉 会

平成28年度 第2回北海道入札監視委員会 出席者名簿

委 員 長	八 幡 雄 治
委 員	池 田 聡一郎
委 員	蟹 江 俊 仁
委 員	相 馬 仁 美
委 員	吉 原 美智世

※五十音順、敬称略

関係各部局出席者

所属	職	氏名
農政部農村振興局事業調整課	課 長	矢 崎 健 二
//	主 幹	高 橋 慎 哉
//	主 査	四 戸 秀 幸
水産林務部総務課	主 幹	原 田 政 史
//	主 査	藤 間 秀 人
建設部建設政策局建設管理課	主 幹	中 村 廣 行
//	主 査	本 田 貴 広
建設部建築局計画管理課	課 長	阿 部 安 孝
//	主 幹	扇 保 男
//	主 査	木 田 豊
出納局財務指導課	課 長	米 田 祥 三
//	主 査	北 山 雅 也

事務局

所属	職	氏名
総務部行政改革局行政改革課	課 長	青 木 真 郎
//	主 幹	保 崎 正 弥
//	主 査	高 木 広 樹
//	主 査	新 名 政 宏

平成28年度第2回北海道入札監視委員会議事録

1 開会

(事務局)

予定の時刻となりましたので、ただいまから、平成28年度第2回の入札監視委員会を開催いたします。

会議に入ります前に、6月1日付けで道の人事異動により、事務局に異動がございましたので、ご紹介させていただきます。

行政改革課主査の 新名 です。

どうぞよろしくお願いたします。

開会に当たり、総務部行政改革局行政改革課長の青木より、ご挨拶申し上げます。

(挨拶)

(総務部行政改革局行政改革課長挨拶)

(事務局)

行政改革課長につきましては、急な用務が入りましたので、誠に申し訳ございませんが、退席させていただきます。

これからの議事の進行につきましては、八幡委員長にお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

2 報告事項

(1) 平成27年度入札契約執行状況(平成28年3月末)

(八幡委員長)

それでは、報告事項の1番目「平成27年度入札契約執行状況」についてのご説明願います。

(事務局)

【資料1-1】に基づき説明

(八幡委員長)

それでは、引き続き「平成28年度の入札契約執行状況」の説明をお願いします。

この後、平成28年度について、説明していただくこととなりますが、質問等については、平成28年度の説明の後に行います。

(2) 平成28年度入札契約執行状況(平成28年9月末)

(事務局)

【資料1-2】に基づき説明

(八幡委員長)

それでは、各委員から何か質問がありましたら、お願いします。

(池田委員)

まず、今ご報告いただいた平成27年度の資料について質問させていただきます。

参考資料として報告いただいた4ページ目の発注3部の随意契約に関しまして、土木36件、農政27件とありますが、こちらについてなぜ入札によらず、随意契約により執行されたのかご説明願います。

(建設部)

我々の方から、土木の随意契約36件について説明させていただきます。

こちらの件数は、平成27年度1年間の件数となっております。災害等緊急対応が必要な工事に関しまして、随意契約により対応させていただいております。

(池田委員)

災害等スピーディーな対応が求められる工事の場合、指名競争という対応も考えられるのではないですか。

(建設部)

今夏の台風のように河川が決壊する危険が生じ、緊急的に土嚢を積むなどの対応が必要となった場合、指名競争入札を実施する時間的余裕がない場合もございます。そういった場合は指名競争入札よりスピーディーに対応が可能な随意契約により対応させていただいております。

(池田委員)

指名競争入札より、随意契約の方がスピーディーに対応出来るということでしょうか。

(建設部)

建設部では、災害等に速やかに対応するために、予め災害復旧に対応する業者を決めておいて、災害等が発生した際、速やかに連絡し、迅速に対応できるようにしております。

(相馬委員)

それに関連して質問いたします。

平成28年度の報告の内容に関しまして、土木の随意契約の件数としまして13件との報告をいただいておりますが、今年の8月、9月の台風の被害はとても大きかったと思うが、その対応についての件数についてはどのようになっているのか？

それは、まだ調査中で契約等は締結されていないということか？

(建設部)

その件に関しましては、ご承知のとおり相当大的な被害が出ておりまして、多くの災害対応工事を行っているところです。

すでに契約及び支払いまで終了した案件もございますが、まだすべての整理が出来ていない状況にあることから、事務局とも相談し、今回ご報告させていただいた上半期の件数には含めず、次回委員会の際に報告させていただくこととしたところです。

(相馬委員)

そうですね。

そうなりますと、次回の報告の際にはかなりの件数が出てくると言うことでしょうか。

(建設部)

そういうことになると思います。

(相馬委員)

そうですか。わかりました。

(池田委員)

台風の話が出ましたが、平成28年度の指名競争入札の件数につきまして、産業振興部の発注件数が834件となっており、平成27年度を見ると1年間で694件となっている。

中身を見ていくと、十勝においては平成27年度1年間で86件となっておりますが、平成28年度はすでに109件となっている。

この件数の増加分が、台風被害に関する調査等の発注が影響しているのかと思ったのが違うのか。

(事務局)

こちらの件数につきましては、農政部と水産林務部の一部が混在している件数となりますが、農政部、この件数の増に関して思い当たる点はございますか。

(農政部)

災害に関する調査は、まだ数件しか発注されていないため、件数の増加との直接の因果関係はないと考えています。

(事務局)

補足させていただきますが、平成28年度の発注に関しましては、半年分と申しまして、上半期にすでに年間発注予定の80%程度の業務が発注済みとなっておりますことから、十勝については、平成27年度と比較しまして、2割程度の増加はありますが、各年度でこの程度の増減はさほど珍しいものではないと考えています。

また、先ほど建設部の方からも説明がありましたが、今回ご報告させていただいた中に台風被害等の対応に関する案件は含んでいないことから、委員からご質問のあった委託業務の件数の増加分に関しましては、自然増ではないかと考えています。

(八幡委員長)

その他、何かございますか。

(池田委員)

平成27年度の資料に関しまして、5ページ目の指名競争入札の設計金額の総額というのは、わかるのか。わかれば、金額を教えてください。

(事務局)

本資料の中で、指名競争入札の総額についての記載はございません。

(池田委員)

指名競争入札なので、1件あたりの単価（1千万を超えていないか）が知りたいので後日で構わないので報告してほしい。

(事務局)

了解しました。後日報告させていただきます。

(池田委員)

もう一つ。

11ページ目の最低制限価格と同価落札の状況についての表がありますよね。

これは、発注3部の合計の件数ですよね。

この報告資料の件数をみると3,540件になっていますよね。

平成27年度の報告資料5ページ目の発注3部の合計は3,462件となっていますが、こちらは同じ件数にならないのか。

(事務局)

こちらの件数の相違に関しましては、後日、精査して再度ご報告させていただきたいと思っております。

(池田委員)

了解しました。

(池田委員)

今度は、平成28年度の報告資料に関しまして、伺わせていただきます。

5ページ目の工事の発注機関別入札・契約実績の建設管理部の発注の中に条件付き一般競争入札による発注が1件ございますが、こちらの発注金額はいくらくらいになるのでしょうか。また、工事内容はどのような工事なのか。

(建設部)

はっきりと覚えていませんが、少なくとも20数億円以上の規模だったと記憶しています。

(池田委員)

条件付き一般競争入札ということは、20億円は超えていますよね。

工事の内容はどのような工事だったのですか。

(建設部)

トンネル工事です。

(池田委員)

ありがとうございます。

次、7ページ目の委託業務ですが、最下段に、企業局、教育庁、北海道警察の実績が制限付一般競争入札となっていますが、こちらは委託業務なので地域限定型ではないですか。

(事務局)

ご指摘のとおり。

こちらは、地域限定型の入札となります。

(八幡委員長)

こちらは、本来、地域限定型の欄に入れないといけないものが、制限付一般競争の欄に入れてしまった。と、こういうことですか。

(事務局)

はい。そのとおりです。

後日、訂正した資料を改めて配布したいと思います。

(八幡委員長)

了解しました。

その他、何かご質問はありませんか。

蟹江委員、何かございませんか。

(蟹江委員)

それでは、1つ。

平成27年度の最後のページになりますが、私が気にしている部分として、過当競争で低入札が続きますと、業界全体が健全に仕事をできなくなるのではないかと考えております。

ここ最近、最低制限価格と1千円以内の落札が増えているというのは、それぞれの地域の業者が非常に厳しい競争にさらされているのではないかと、思うわけで、そういう目で見えていきますと、旭川あたりは、1千円以内の落札件数が昨年度に比べ、急激に増えている。

地域の業者は非常に厳しい状況に置かれているのではないかと、思うわけでして、以前から、低入札が非常に多かった帯広なんかも件数は増えているようですが、割合的には少し落ち着いてきたのかな。という印象。

業者の健全な経営のためにはある程度の利益確保が必要と考えますが、そういった観点から見ていくと、今後注意が必要なのは旭川なのかな。と、思っています。

12ページに表は、平成26年度と27年度の比較の表になっていますが、本年度の28年度も含めて、注視していく必要があるのではないかと、言うのが私の見解でございます。

(建設部)

旭川が増加傾向にあるとの認識はありましたが、増加原因については調査していないのでちょっとわからないのですが、委員がおっしゃるとおり、今後注視していかなければならないと考えています。

(蟹江委員)

1年だけの比較だとわからないですが、今後の傾向については注視していく必要があると思います。

以上です。

(八幡委員長)

ありがとうございます。

この件については、この程度としまして、次、「談合情報の対応状況」について、説明をお願いします。

(3) 談合情報の対応状況について

(事務局)

【資料2-1】に基づき説明

(八幡委員長)

談合情報にあった業者は、新しい入札には参加されていないのですか。

(建設部)

結果的に、新しい入札には、参加しておりません。

(八幡委員長)

結果的に、参加されていない。と。
わかりました。

(八幡委員長)

他に、何かご質問ありませんか。
無いようなので、この件につきましてはこの程度とします。

(八幡委員長)

本来であれば、本年度の現地調査の結果について、この場で各委員の皆様からご意見をいただく予定でございましたが、先般の台風被害等の対応を優先していただきたく中止とさせていただきます。

現地調査に係りまして、準備等のご協力をいただいた上川総合振興局並びに釧路総合振興局に対しまして、この場をお借りしてお礼申し上げます。

(事務局)

それでは、この後、抽出審議に移りますが、本委員会における審議は北海道入札監視委員会運営要領第3の2において非公開と規定されております。

何卒ご理解のうえ、関係機関以外の出席者並びに報道関係者におかれましては、ご退席をお願いいたします。

3 審議（議事概要）

抽出審議 石狩振興局産業振興部調整課発注案件

上記機関発注の工事2件、委託業務1件について、工事概要、入札参加資格及び契約の状況について説明を行った。

委員からは、参加可能業者数や総合評価方式を採用する工事の選定方法、また、プロポーザル方式を採用する業務の選定方法などの質疑があり、道における基準について説明し、基準に基づき実施している旨、回答した。

4 閉会

(八幡委員長)

以上で、本日の委員会は終了いたします。

(了)